

大阪タワーの解体工事に採用されました。!



JFEシビルのアップ・ダウンジャッキを用いたタワー解体

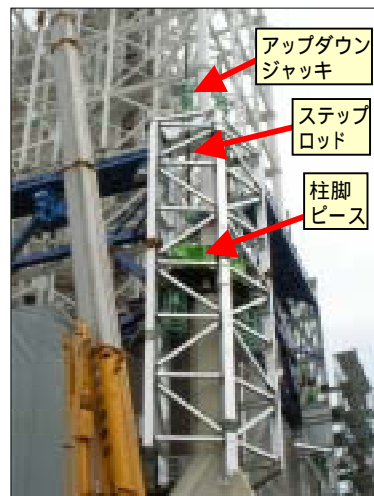
スーパージャッキシステム テクニカルノート

ジャッキで塔体を吊り降しながら、下部で解体撤去を進めていきます。

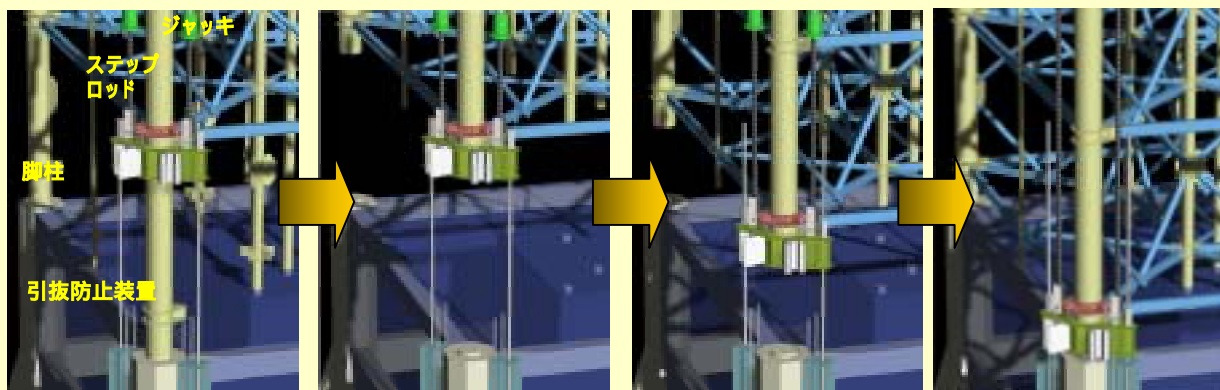


特長

1. 高所作業がなく安全に施工できます。
2. 大型重機を使用しないため、市街地での施工に適します。
3. フロアレベルで解体でき、分割撤去が容易です。



ジャッキダウン イメージ



柱脚ピースを柱に固定

ジャッキで柱脚ピースを吊って下部をカット

ジャッキでステップロッドを降下させ柱脚をダウン

柱脚を定着固定し柱脚ピースを盛変え

- ・ 引抜き防止装置を組み込むことにより、暴風や地震時の転倒に対する安全を確保できます。
- ・ 節付のステップロッドにジャッキが堅固にかみ合い、緩み・ズレがなく安全確実にダウンできます。
- ・ 複数のジャッキを高精度で連動制御し、塔体を安定して降下します。
- ・ 本工法は竹中工務店殿と協業で開発した「竹中グリップダウン工法」です。

竹中工務店 大阪タワー下部から解体

柱切断、ジャッキダウン

竹中工務店は、大阪タワー（大阪市北区）の解体工事で、外構は既に解体済みで、現在は「ジャッキダウン」工法による「柱切断」作業を行っている。世界初の「ジャッキダウン」工法による解体工事となるため、安全確保に重点を置き、全社をあげて工法開発に取り組んでいる。

同工法は、タワーの上部（地上約140メートル）を、柱脚（地上約10メートル）まで移動させ、その後、柱脚を切断して解体する。この工法は、従来のジャッキダウン工法よりも、安全に解体できるという特徴がある。また、ジャッキダウン工法は、タワーの上部を移動させる際に、ジャッキを複数台設置し、タワーの上部を均等に支えることで、タワーの上部を安全に移動させることができる。また、ジャッキダウン工法は、タワーの上部を移動させる際に、ジャッキを複数台設置し、タワーの上部を均等に支えることで、タワーの上部を安全に移動させることができる。

解体工事のスケジュールは、ジャッキダウン工法による柱切断作業が中心となる。この作業は、タワーの上部を移動させる際に、ジャッキを複数台設置し、タワーの上部を均等に支えることで、タワーの上部を安全に移動させることができる。また、ジャッキダウン工法は、タワーの上部を移動させる際に、ジャッキを複数台設置し、タワーの上部を均等に支えることで、タワーの上部を安全に移動させることができる。

解体工事のスケジュールは、ジャッキダウン工法による柱切断作業が中心となる。この作業は、タワーの上部を移動させる際に、ジャッキを複数台設置し、タワーの上部を均等に支えることで、タワーの上部を安全に移動させることができる。また、ジャッキダウン工法は、タワーの上部を移動させる際に、ジャッキを複数台設置し、タワーの上部を均等に支えることで、タワーの上部を安全に移動させることができる。

